

令和元年（2019年）第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	3番	高田和登 (60分)	<p>1. 人と犬や猫との共生について</p> <p>(1) 犬について</p> <p>①ア 犬の登録頭数、未登録頭数、狂犬病予防注射実施頭数を問う。 イ 5年前の犬の登録頭数、未登録頭数、狂犬病予防注射実施頭数を問う。 ウ 犬による咬傷事件の最近5年間の件数を問う。</p> <p>②ア 未登録の犬の飼い主に対して、登録義務の周知方法を問う。 イ 狂犬病予防注射をしない飼い主に対して、接種義務の周知方法を問う。 ウ 犬の死亡届けを出さない飼い主に対して、届け出義務の周知方法を問う。</p> <p>③ア 犬を新規登録した飼い主に対して、定期的に、終生飼育や義務やマナーについての教育をすべきと考えるが、いかがか。 イ 登録した犬の飼い主が転居した場合の事務処理を問う。 ウ 犬の飼い主が死亡・高齢化などで、飼育不能になった場合の市の対応を問う。</p> <p>④むやみに吠える犬への苦情は市には来ていないか。</p> <p>⑤犬のストレスを軽減し、咬傷事故を未然に防止するため、瑞穂町などに設置されているドッグランの設置を検討すべきと考える。過去の一般質問の答弁では、消極的な見解が多いが、市の見解を改めて問う。</p> <p>(2) 猫について</p> <p>①飼い主のいない猫の不妊手術に対する市の補助金額、登録団体数、実施頭数を問う。 ②猫の捕獲器の貸し出し実績を問う。 ③公園の砂場の砂の交換をしているとの答弁が以前あったが、3年間の実績を問う。 ④繁殖期の猫の鳴き声に対する市民からの苦情はないか。</p> <p>(3) その他</p> <p>①東京都福祉保健局が平成26年4月に発行した「東京都動物愛護管理推進計画」(ハルスプラン)について ア 市内には多頭飼育に起因する問題は発生していないか。 イ 市は動物の遺棄・虐待に関する問題は発生していないか。 ウ 市には東京都から委嘱された動物愛護推進員はいるか。</p>	6月10日

エ 犬猫の致死処分数を減らすために、譲渡の仕組作りをすべきと考えるが、いかがか。
オ 市は災害時の動物救護体制を充実すべきと考えるが、いかがか。

②動物愛護法改正案が成立した場合、マイクロチップ装着義務化、「動物愛護管理担当職員」設置の努力義務化は、市にも関係する。対応を問う。

2. 行政のスリム化に向けた見直しについて

(1)はむら健康の日と健康フェアの統合・充実について

①過去3年間の、はむら健康の日と健康フェアの参加者数を問う。

②それぞれの事業の平成30年度の決算額と令和元年度の予算額を問う。

③効果見込額の記載はないが、事業の統合により、節減できる金額を問う。

④追加資料記載の「羽村市三師会保健衛生事業補助金」「結核検診の実施」について、現状の金額と効果見込額を問う。

⑤事業の充実について具体的な内容を問う。

⑥今年の、はむら健康の日では整理券を求め、開始時間の2時間前に来場する方もいた。市の対応方法を見直す必要があると考えるが、いかがか。

(2)小作台5丁目広場の管理について

①土地の活用方針（売却、有料貸出等）について、進捗状況を問う。

②効果見込額の記載はないが、令和元年度の見直しであり、売却の場合と有料貸出等の場合の効果見込概算は算出されていると考えるが、いかがか。

③市民活動団体や地元の高齢者クラブなどで活用されている市有地を処分すべきではないと考えるが、いかがか。

④今後、小作台5丁目広場は「公園」として整備・充実すべきと考えるが、いかがか。

(3)その他

①小作駅前駐車場の管理について、収入がある事業であり、見直しは慎重に進めるべきと考える。また、現状以上の効果見込額が期待できるなら、土地の活用方針を決定すべきと考えるが、いかがか。

②被災者一時宿泊所の運営に関連して、小作台2丁目にあった、旧第1宿泊所の跡地について、今後の方向性を早急に検討すべきと考えるが、いかがか。

③コミュニティセンターの管理運営について、休館日を見直すとのことであるが、現

2 人目

7 番

中 嶋 勝
(60 分)

状の休館日と見直し後の休館日、また、効果見込額を問う。

- ④土日開庁業務で、今後のあり方を検討することであるが、具体的な内容を問う。
- ⑤市役所連絡所の運営を令和2年3月で廃止することであるが、直近、1年間の3連絡所それぞれの利用者数と廃止による効果見込額を問う。
- ⑥AZEMSプロジェクトで令和2年1月から課金開始とのことであるが、直近1年間の利用台数、設備改修に要する経費、効果見込額を問う。

1. 縮充への取組みを市民とともに

- (1)市は40事業のスリム化を公表したが、今後の進め方をどのように市民に示していくのか。
- (2)抽出した事業の理由や現状等、詳細な情報も公表し、市民と共有することが必要ではないか。
- (3)市民を交えた協議の場を設置し、意見を聞いて進めることが重要と考えるがいかがか。
- (4)これらのスリム化においては、ただ縮小するのではなく代替案等、市民の利便性の低下を最小限に抑え縮充になるような取組みが必要ではないか。
- (5)公共事業及び施設のマネージメントについて
 - ①水上公園プールは休止となっているが、今後のあり方をどう考えているか。
 - ②大規模改修が必要なスイミングセンターの今後のあり方をどう考えているか。
 - ③大規模改修が必要な自然休暇村の今後のあり方をどう考えているか。
 - ④動物公園の今後のあり方をどう考えているか。
 - ⑤市内3か所の市役所連絡所の今後のあり方をどう考えているか。
 - ⑥平日夜間急患センターの今後のあり方をどう考えているか。
- (6)スリム化にあたっては、公会計制度で各事業及び施設ごとの費用や効果の情報が見える化し、判断基準にすることが重要と考えるが、情報の活用はどこまで進んでいるか。

2. 児童生徒の読書活動推進について

- (1)全国的に見て、年代が上がるにつれ読書率が下がる傾向があるが、羽村市の児童生徒の読書率と全国及び近隣市と比べてはどうか。
- (2)それらを検証し課題をどうとらえているか。

6月10日

3 人目

15 番

石 居 尚 郎
(60 分)

- また、読書がもたらす効果をどう認識しているか。
- (3) 学校における読書活動推進への取組みを伺う。
- (4) 学校図書館総合管理システムについて
- ① 小学校 7 校では整備が完了して運用しているが、効果を聞く。
 - ② 中学校 3 校ではいまだ整備が進んでいない。当初計画から 5 年間も先延ばしされてきた理由を伺う。
 - ③ システムが全校に整備されると将来的にどのような運用や活用が期待できるのか。

3. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会とともに文化振興を

- (1) 文化の祭典でもある、東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会開催に合わせた市の文化振興をどのように考えているか。
- (2) 大会まであと 1 年あまりだが、この機会にさらなる文化振興が図られるよう今後の取組みを伺う。
- ① 都では「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と銘打ち、地域の文化活動を支援する補助事業を展開しているが、これらの活用でさらに文化振興を図ったらどうか。
 - ② 事前キャンプ地として誘致しているキルギス共和国の国民性や生活文化などを身近に感じられるよう、コンサート以外でも事業展開できないか。
- (3) 文化協会をはじめ各文化団体と、東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会を契機に文化振興の強化をどう図っていくのか伺う。

1. 道路の安全確保とその対策について

- (1) 子どもの命を守る、歩道の安全確保について
- ① 滋賀県大津市の死傷事故を受け、市はどのように安全対策を図ろうとしているか。
 - ② 市内の道路環境など安全確保に向けた総点検を実施すべきではないか。
 - ③ 通学路の危険箇所総点検の実施についての市の見解は。
 - ④ 行政機関や幼児教育・保育施設での交通安全教育の指導・徹底はどうなっているか。また、幼児教育・保育施設ではどのような交通安全対策を講じているか。
- (2) 川崎・羽東地域の道路安全対策について
- ① 川崎街道の青梅線以西から奥多摩街道で、過去 5 年間の事故件数と内容を聞く。

6 月 10 日

- ②川崎街道が朝夕混雑する原因をどのように捉えているか。
- ③狭くて曲がりくねった川崎街道の安全対策をどのように講じるのか。
- ④中長期的な取組みの考えはあるのか。
- ⑤都市計画道路3・4・12号線開通により混雑は解消されると考えているか。

2. 青年・成人の知的障がい者の余暇活動と居場所の充実を

- (1)羽村市の福祉施策において、国連総会で採択された「障害者の権利に関する条約」における第30条の「文化的な生活、レクリエーション、余暇活動及びスポーツへの参加」はどのように反映されているのか。特に青年・成人の障がい者の余暇活動についてはどうか。
- (2)青年・成人の障がい者の余暇活動や居場所についてどのような支援制度があるか。また、近隣では、余暇活動や居場所となる施設等はあるのか。
- (3)障がい者は、「障害者の権利に関する条約」の批准や「障害者基本法」「障害者差別解消法」の施行等も踏まえ、青年・成人となった18歳以降も一生を通して、自らの可能性を追求しつつ、地域の一員として豊かな人生を送る権利がある。羽村市としてこの権利をどのように認識し、どのような施策を推進しているのか。

3. SDGsを教育へ 持続可能な開発のための教育（ESD）を

- (1)国の第三期教育振興基本計画を踏まえた新学習指導要領の理念は羽村市の学校教育にどのように反映されているか。またそれは、どの計画のどこに記されているか。
- (2)羽村市教育委員会として、持続可能な開発のための教育（ESD）をどのように認識し、学校教育の中でどのように取り組んでいくのか。
- (3)今後の学校教育に関する計画で、ESDの視点を教育課程の中に記述していくのか。また、カリキュラムマネジメントとして「ESDカレンダー」の作成、指導計画を明示していくのか。
- (4)羽村市教育委員会として、ESDの推進拠点となるユネスコスクールに加盟していく考えはあるか。

- (1)市では、日常の安心安全へのパトロールや、チェック、確認等をどのようにしているか。
- (2)市民や団体等からの市への情報提供・要望の内容や、その手段は、どのようなもので、その件数は過去3年間、どのような状況か。
- (3)通報や要望を受ける市側の体制は、どのようになっている、その対応はどうしているか。
- (4)市では、市内の安心安全へ協力いただいている個人や団体へのサポートをどのようにしているか。
- (5)多くの方からいただく情報は、大変に貴重なものであり、自治体業務の効率化にも繋がる。その利便性や有用性、共有性からもSNSの積極的な活用に向けた展開を図ってはどうか。

2. デジタル平和資料館（仮称）の開設で平和事業の充実を

- (1)これまでと、これからの平和事業に向けた取り組みを聞く。
- (2)市民等からの寄贈品や独自に収集した関連資料をはじめ、現存する資料の保管・保存状況は、どのようなものがありどのようになっているか。また、今後、どのようなことが必要と考えられるか。
- (3)このような貴重な資料は、どのように活用されているか。また、今後、どのようにしていくのか。
- (4)そうした資料のデジタル化を、少しずつでも進め、小さな規模からでも羽村市版「デジタル平和資料館（仮称）」を公式サイト上に開設をしてはどうか。

3. 誰にでもやさしいコミュニティバス「はむらん」のバス停へ

- (1)現在、「はむらん」バス停に設置されているベンチのみ、屋根のみの設置数、また、ベンチと屋根ともに設置されているバス停数を聞く。
- (2)技術的に、新たなベンチ、屋根の設置が可能なバス停は、どこに何か所あると考えられるか。また、それに向けた市としての方向性、計画性はどのようなものか。
- (3)道路あるいは、歩道上に直接設置されたバス停が多くある。その安全性の確保に向けた課題と対策をどのように考えているか。
- (4)車内でのCM付きバス停案内放送やバス停名称へのネーミングライツ等の運賃外収入の確

5 人目

11 番

西 川 美佐保
(60 分)

保を図るとともに、ベンチ・屋根については、民間事業者等からの寄付、助成、ネーミングライツ、広告等を積極的に活用し、設置してはどうか。

6 月 10 日

1. コミュニティバス「はむらん」及び民間デマンド型乗合タクシーについて

(1) はむらんの利便性向上について

- ① 近年 5 年間の、はむらんの利用者状況の推移を伺う。
- ② はむらんのルートが複雑で、どのバスに乗ったらよいかいまだにまだ良く分からないとの声がある。以前の議会でも提案したが、バスの前面ガラスに行き先を経由も含めて提示してはどうか。
- ③ バスに乗っても、目的のところへ行けるのか不安があるとの声がある。はむらんの車内に、それぞれのバスの経路を提示してはどうか。
- ④ 「はむらん」オリジナル時刻表を作成して頂ける「わたしの時刻表」がまだまだ知られていない。窓口はどこかを含め、さらなる PR が必要では。
- ⑤ 市役所から羽村駅方向へ向かう路線は 4 路線あるが、全てゆとろぎ経由となっている。市役所通りを走らせて欲しいとの要望があるが、「羽村中央コース」等、1 コースは市役所通りを走らせてはどうか。
- ⑥ 乗り継ぎが悪いとの声があるが、対応できているのか。
- ⑦ 羽村駅から市役所通りを通り栄小学校方向へ走るコースなど、民間バスが減便されている場所がある。その点への配慮はされているか。

(2) 民間デマンド型乗合タクシー等、はむらん以外の交通について

- ① 交通空白地域や利便性の悪い地域への対応、自動車免許の返納者などへの対応について今後どのように考えているのか。
- ② 全国では様々な形態でのデマンド型乗合タクシーが導入されている。はむらんを補完し、財政負担を伴わないような民間デマンド型乗合タクシーを、試験的に導入できるよう検討してはどうか。

2. 父親から見た子育て支援の充実について

(1) 父親も育児に参加しやすい環境整備について

- ① 父親に視点を置いた親子の集いや、読み聞かせ、セミナーや企画など市で行われているものはあるか。あれば、どのようなものか。
- ② 3 歳児健診など、父親と子どものみが参加する機会を設けて、そこに親子や子育て主体者

6 人目

10 番

大塚 あかね
(60 分)

としての父性を育成する企画を合わせて行な
ってはどうか。

③産後鬱にかかる母親が多い中で、母親の気持
ちを理解する機会をどのように設けているの
か。

④市職員（男性）の育児休業取得率の近年の目
標と現状はどうか。

(2)ハード面の改善について

①公共施設や、公園、駅などの男性トイレにも、
オムツ替えシートやお子さんを座らせる椅子
が必要ではないか。

②「赤ちゃん休憩室」は男性も女性も利用でき
るが、小作駅、羽村駅にも設置をしてはどうか。

③民間にも広がっている赤ちゃん休憩室のこ
とが、まだまだ市内全体に浸透していない。も
っと気軽に利用して頂けるように PR が必要
ではないか。

3. 認知症対策「はむらオレンジカフェ」につ いて

(1)平成30年度に4か所で行われた「はむらオ
レンジカフェ」のそれぞれの状況を伺う。

(2)今後、参加される各種ボランティアの募集も
必要になってくると思われるが、認知症サポ
ーターの活用や、文化活動団体等への要請、
登録などはどのように行なっているのか。

(3)高齢者施設が多い羽村市では、社会福祉施設
や高齢者施設等との連携により、歩いて通え
るカフェを増やしていくことができると考え
るが、今後の市の展望をどのように考えてい
るのか。

(4)以前の議会の質問で、オレンジカフェと合
わせてベンチを増やしていくことも提案してい
る。市内全域にベンチの設置を図ることは、
外出支援にもなり高齢社会で必要であると思
えている。公共施設を含め、市民、店舗、事
業所などとも連携してベンチの設置を増やし
てはどうか。

1. 高齢者等を中心とした市民の移動・外出支援 サービスを進めよう

(1)運転免許を返納した高齢者への支援と対策に
ついて、検討はどこまで進んだのか。

①羽村市として、市内企業、団体に対し「高齢
者運転免許自主返納サポート協議会」への加
入促進への働きかけは進んでいるか。

②羽村市として、運転免許を自主返納した高齢
者（市民）に対する支援策について

6 月 13 日

- ア 運転経歴証明書交付手数料 1100 円に対する補助
 - イ タクシー、バスなどの乗車料の割引、助成など
 - ウ 運転経歴証明書を提示することにより、割引や特典を受けることができるなど、市内事業者が支援することに対する働きかけ。
- (2)「コミュニティバスはむらん」について
- ①ルート見直しについて
 - ア 西コースの見直しについて、多くの議員が意見をあげているが、「コミュニティバスはむらん運営推進懇談会」では、この件について、どのような議論がされているのか。
 - イ 増便、ルート見直しを図るべきではないか。
- (3)デマンド型交通の運行の検討はどこまで進んでいるのか。
- (4)要支援認定者・基本チェックリスト該当者の移動支援のために、介護予防・日常生活支援総合事業の移動支援サービス（訪問型D）の実施は検討されているのか。

2. 会計年度任用職員制度の確立に向けて羽村市の状況について

- (1)2020年4月導入に向けての準備状況について伺う。
- ①臨時職員、非常勤職員への説明
 - ②職員団体との協議
 - ③人事・給与システムの改修
 - ④条例制定の予定
- (2)採用はどのように行われるのか。
- (3)給付について伺う。総務省は、給料（報酬）は、常勤職員との同一運用を基本とすべきとしているが遵守されるのか。
- ①フルタイムの会計年度任用職員に対する給付の取り扱いについて。
 - ア 給料水準
 - イ 通勤手当
 - ウ 時間外勤務手当
 - エ 期末手当
 - オ 地域手当
 - カ 退職手当
 - ②パートタイムの会計年度任用職員に対する給付の取り扱いについて。
 - ③影響額はどの程度であり、その財源はどのように措置するのか。
- (4)休暇制度は適用されるのか。
- ①労働基準法が規定する年次有給休暇、産前産後休暇、育児時間、生理休暇
 - ②介護休業（休暇）、短期の介護休暇及び子の看

7人目

2番

梶 正 明
(60分)

護休暇

(5) 再度の任用について

- ① 空白期間の適正化は図られるのか。
- ② 再度の任用の手続きはどのように実施されるのか。

6月13日

1. 安全安心の街づくりのため、子どもたちの更なる安全確保に向けての取組みを

(1) 薬物や危険ドラッグへの対策について

- ① 市内で薬物や危険ドラッグの使用に伴う犯罪は発生しているか。
- ② 薬物やドラッグへの危険性の認識がないため、使用してしまったとよく聞くが、どのような啓発活動を行っているか。

(2) 通学路の点検と対策について

- ① ブロック塀倒壊・不審者対策は行われているか。

(3) 児童虐待について

- ① 児童虐待等が疑われ、児童相談所や警察に通報等した件数は。(過去3年間)
- ② 福生警察署と児童虐待情報共有等に関する協定を締結したと聞く。現時点の情報共有の件数は。
- ③ 福生警察署と協力し、どのような取組みを実施していくのか。

(4) コミュニティサイト等による犯罪被害について

- ① 市内の小中学生のスマートフォン等の保有状況は。
- ② コミュニティサイト等を利用したことによる市内の小中学生の犯罪被害は発生しているか。(過去3年)
- ③ コミュニティサイト等の危険性について、どのように学ばせているか。

2. 安全安心の街づくりのため、高齢者への犯罪を防ぐ対策強化に向けて

(1) 市内における犯罪の発生について

- ① 犯罪の発生件数の推移(過去5年間)と、どのような犯罪が多く発生しているか。
- ② 多く発生する犯罪が起こる原因と市の対策は。(自転車盗等)

(2) 市内における特殊詐欺への対策について

- ① 特殊詐欺の発生状況と被害額は。(過去3年間)
- ② どのような特殊詐欺が発生しているか。
- ③ 自動通話録音機の貸し出し状況と、現在貸し出しできる在庫数は。
- ④ 特殊詐欺にあわないための対策、啓発活動等

8 人目

6 番

富 松 崇
(50 分)

- の状況は。
- (3) 防犯カメラの設置状況について
- ① 防犯カメラ設置のメリット・デメリットは。
 - ② 道路や公園などに市が設置した防犯カメラの数は。
 - ③ 警察署等への画像の情報提供は、どのくらいあるか。(過去 3 年間)
 - ④ 民間が設置したカメラが、公共の場である道路等を映している場合があると聞かすが、このような状況を市は把握しているか。
 - ⑤ 今後の設置の計画はあるか。

1. 地域コミュニティの振興について

- (1) 町内会・自治会について
- ① 市内の世帯数の推移は。(平成 28 年度から現在まで)
 - ② 町内会・自治会の加入率の推移は。(平成 28 年度から現在まで)
 - ③ 町内会・自治会組織は地域の活性化を図るうえで、重要な組織だと考えるが、加入率の低下が止まらない現状をどのように捉えているか。
 - ④ 加入率を上げるために行ってきた施策について、どのように捉えているか。
 - ⑤ 若い世代の加入促進を図る必要があると考えるが、これまでの市の取組みは。
 - ⑥ 町内会連合会や各町内会・自治会での加入率増加への取り組みに対して、今後どのように支援していく考えか。
 - ⑦ 今後の町内会・自治会のあり方について、市はどのように考えているのか。
- (2) 市民活動団体について
- ① 団体同士の情報交換の状況は。
 - ② 団体同士の連携による新たな取組みの状況は。
 - ③ 各団体での加入者増加への市の支援体制は。
 - ④ 市民活動団体の活動拠点の整備はどのように進んでいるのか。
- (3) 団体間の連携について
- ① 地域コミュニティの振興は、将来を見据えたまちづくりの観点からも重要な施策だと考える。町内会・自治会や市民活動団体、子どもたちのために活動している団体や事業者の団体など、すべての団体間での連携が今後、必要になってくると考える。市民活動センターが中心となり、連携できる仕組み作りなど、さらに支援の充実を図っていくべきだと思うが、市の考えを伺う。
 - ② 加入率の低下・人材不足で組織として存続す

6 月 13 日

9 人目

4 番

浜 中 順
(60 分)

ることも難しくなっている団体が多い。組織同士が助け合える仕組みが必要ではないかと考えるが、いかがか。

6 月 13 日

1. 水上公園の流れるプールは継続すべき

- (1) 休止するに至った経緯を、改めて明らかに。
- (2) 市は、子どもたちや市民にどのように説明しているのか。
- (3) 羽村市周辺の全ての自治体でも設置している屋外プールは、子どもたちにとって楽しみであり、健康上も大切なもので欠かせない。どう考えているのか。
- (4) 子育てしやすいまちをめざしている羽村市にとって、夏場の大人気のプールは重要な要素であると考えますが、どうか。
- (5) 子ども時代に、いろいろ楽しかったという経験があるからこそ、大人になっても地域のために、がんばろうという気持ちになる。地域のことに関心をもてる若者を育てるためには、屋外プールは重要なことのひとつではないのか。
- (6) 多くの市民は、「子どものために、せめてプールは継続させてあげたい」と思っている。市の将来を支える子どもたちの成長の糧となるプールに対して、市も同様に考えるべきではないのか。
- (7) これまで同様に稼働するには、修繕費などいくら掛かるのか。
- (8) この修繕費は真っ先に削減すべきものなのか。
- (9) 今後、どのように、水上公園を再整備しようとしているのか？

2. 羽村駅西口土地区画整理の大幅な見直しを

- (1) 現在の羽村駅西口の駅前通りの医療機関の前の歩道は狭く、高齢者が転倒してけがをしたということも聞いている。これ以上、現在の危険な状況を放置すべきでないと考え。他の道路についても狭くて危険で、同様に区画整理待ちになっているところが見受けられる。早急に改修すべきではないのか。
- (2) 羽村大橋からの都市計画道路 3・4・12 号線については、早く工事を進めてほしいという要望が強い。
 - ① 早める方法はないのか。
 - ② 行き詰まったまちづくりを改善するため国が提起している「沿道整備街路事業」もあると聞いている。それによって、買収方式の良さをとり入れるなどして工事を早く進められな

10 人目	1 番	秋 山 義 徳 (60 分)	<p>いのか。</p> <p>(3)新しい事業計画によって、補助金も増額されそうだと言われている。しかし、今後毎年平均 10 億円以上もの市費を投じる必要があると予想される。そのために、行財政改革によって、多くの市民の生活を支える予算を削ることが予想される。区画整理も行財政改革の対象としていると回答があったが、まずはじめに、区画整理事業こそ、大幅に見直すべきではないのか。</p> <p>1. 小・中学校教育の ICT 化の現状について</p> <p>(1)教育現場での ICT 環境整備の取組みについて</p> <p>①現状と目標はいかがか。</p> <p>②Wi - Fi 整備はできているのか、予定はあるのか。</p> <p>③現在のパソコンの利用状況と効果は。</p> <p>(2)将来、教科書や教材のペーパーレス化について</p> <p>①市の考えはいかがか。</p> <p>(3)タブレット PC の導入について</p> <p>①福生市で、小学 3 年生にタブレット PC を貸し出し、「やる key」という算数アプリを導入し、授業や家庭での個別学習に利用している。羽村市でもタブレット PC と支援アプリ導入を検討してはいかがか。</p>	6 月 13 日
11 人目	13 番	山 崎 陽 一 (60 分)	<p>2. 空き家の管理状況について</p> <p>(1)市内の空き家の現状について</p> <p>①何件あるのか。</p> <p>②所有者不明の物件は何件あるか。</p> <p>③倒壊の危険のある物件は何件あるか。</p> <p>(2)市の取組みについて</p> <p>①管理状況は、どうなっているのか。</p> <p>②再利用の計画は、検討されているのか。</p> <p>③シェアリングオフィスや街の芸術家のための市民ギャラリーなど、空き家を民間企業や団体に貸し出すなどの考えはないのか。</p> <p>1. 区画整理撤回要求第 4 9 弾</p> <p>(1)実態が不明な 15 年延長計画について</p> <p>①区画整理事業は 2021 年度終了だ。なぜ延長しなければならないか。</p> <p>②30 年間の延長計画を 22 年とし、実質 15 年の事業延長とした根拠は何か。</p> <p>③30 年間の事業期間は「長すぎる」として、国・都が認めなかった。今回の 22 年間の延長は認</p>	6 月 13 日

められたのか、その理由は。

- ④2021 年度以降の国・都の補助金獲得 15 年間は保証・確約されるのか、その根拠は。
 - ⑤事業期間、事業費の積み上げは 2014 年度策定の移転実施計画が基礎になっている。詳細の事業費の明細はどのようなものか。示すべきではないか。
 - ⑥2025 年度の市費負担、17 億 4500 万円。この金額内訳と財源の根拠を聞く。
 - ⑦事業費、事業期間の延長は地権者、市民にとって最重要課題だ。丁寧な説明をする、の答弁をしていた。いつ、どのように周知し、説明したか。
 - ⑧2018 年度事業の進捗状況と、2019 年度の事業予定を聞く。
- (2) 事業計画変更・決定取消請求事件への控訴は、現状に矛盾しないか
- ①第 2 次事業計画変更は「事業期間、資金計画が非現実的」として東京地方裁判所から、違法・取り消し判決を受けた。どのように認識しているか。
 - ②地裁の判断が間違いならば、「指摘された事業期間、資金計画には根拠がある」という証明が必要ではないか。
 - ③仮に、施行者の裁量というなら、どこまでがその範囲か。
 - ④第 3 次事業計画変更も、その裁量範囲で組み上げたのか。
 - ⑤第 3 次事業計画変更が決まれば、2 次案の違法・取り消し判決に対する、控訴の意味は何か。
 - ⑥控訴裁判の訴訟弁護委託料 625 万円は無駄ではないか。
- (3) 川崎 4 丁目地区工事、道路廃止は法令の無視ではないか
- ①遠江坂からの道路を 4 月に測量、1 か月で廃道にすると地権者に告げたという。事実か。
 - ②具体的な道路廃止工事計画を聞く。
 - ③廃道要件はどのようなもので、満たしているか。
 - ④擁壁工事後、水道道路が盛土されたが何センチか。
 - ⑤現状と同じ宅盤と説明を受けた地権者から抗議を受けている。どう対応しているか。
 - ⑥体調のすぐれない家族が工事騒音・振動で悪化した。対応を求める「市長への手紙」が届いているはずだ。どう対応したか。

12 人目	5 番	印 南 修 太 (60 分)	<p>1. 羽村駅西口土地区画整理事業計画変更について</p> <p>(1) 15年延伸する場合について</p> <p>①単年度の事業費はどのくらいになるか。</p> <p>②西口基金からの繰り入れは難しいが、どのように財源を確保するのか。</p> <p>③終了時の2037年に、区画整理事業の市債残高はどの位と想定しているか。</p> <p>(2) 延伸せずに、2022年で終了した場合について</p> <p>①権利者や国や都に対して、どのような手続きが必要となるか。</p> <p>②①の手続きをしていく場合に必要となる予算と時間はおおよそどのくらいなのか。</p> <p>③現在優先している都市計画道路3・4・12号線等の整備は中止となるのか。</p>	6月14日
13 人目	14 番	馳 平 耕 三 (60 分)	<p>1. 羽村市長期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生計画の進捗度について問う</p> <p>(1) 創生計画に示された具体的な成果指標の現状を問う。</p> <p>①転入者数が転出者数を上回ることを目標指標としているが最新の現状はどうか。</p> <p>②合計特殊出生率について、平成31年に1.50を目標指標としているが最新の数値はどうか。</p> <p>③東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」における各教科の正答率について、各教科で東京都の平均正答率を上回ることを目標指標としているが最新の現状はどうか。</p> <p>④令和元年度に創業比率が全国119位、事業所数が全国568位を上回ることをそれぞれ目標指標としているが現状はどうか。</p> <p>⑤令和元年度に地域ブランド調査で、羽村市の認知度695位、羽村市の魅力度873位を上回ることを目標指標としているが現状はどうか。</p> <p>(2) 創生計画には、「羽村 de いい家助成制度」の導入が検討されているが、現状はどうなっているか。また、持ち家世帯には様々な補助があるのに対して、賃貸住宅世帯には補助がないことから家賃補助を実施する自治体が増えてきているが羽村市はその考えはないか。</p> <p>(3) 羽村市の中小企業が企業数に占める割合は何%か。また、内需の減退、後継者難、人材不足等で中小企業を取り巻く環境が非常に厳しい現状の中、中小・小規模事業者の振興を図り、市の経済の持続的な発展に寄与するため中小企業基本条例（仮称）を早期に作るべきではないか。</p>	6月14日

- (4)創生計画には、生涯学習の項目の中に「確かな学力の育成」とあるが、現状をどうとらえていて具体的にどう改善に努めていく考えか。
- (5)創生計画には、生涯学習の項目の中に、「郷土学習の充実」「芸術・文化・学習活動の推進」とあるが、第五次長期総合計画で示された目標値、ゆとろぎの利用率55%、図書館の貸出件数44万5075件、郷土博物館入館者数3万8000人、スポーツ人口50%に対して現状はどうなっているか。改善させる方策はあるか。
- (6)有効求人倍率が、平成31年3月の時点で、全国1.63 東京都 2.14に対して、羽村市が属する青梅公共職業安定所管内の数値は、1.30と極端に低い現状をどう分析しているか。

2. 羽村市の人事の方針について問う

- (1)平成30年度の普通退職者数は12人で、平成23年度の1人から徐々に増えて、極めて多い数字だと思うがその原因をどう分析しているか。
- (2)平成30年度の普通退職者は12人で、正規職員に占める普通退職者の割合は3.2%となっているが、これは、東京26市と比較して高い数値か。
- (3)平成25年度以降、勸奨退職者が数人いるが、羽村市が退職を勧める原因の主なものは何か。また、年間、何人ぐらいに退職を勧めているか。
- (4)令和元年度採用の、羽村市職員の採用試験等の実施時期が遅れた原因は何か。
- (5)新規職員の採用に関してどういう人材を望んでいるか。また、それを募集のポスター等で具体的に示すべきではないか。
- (6)今後の職員採用の基本方針について、どのように考えているか。また、年齢や大学卒等の資格要件は無くすべきだと考えるがいかがか。
- (7)羽村市の職員が生きがいや意欲をもって、長期に楽しく働くために何をすべきと考えているか。

14人目

18番

門 間 淑 子
(60分)

1. 環境省からの産業廃棄物プラスチックの焼却要請を拒否しよう

- (1)環境省は、自治体の条例を改正して規制を緩和し、積極的に受け入れるよう求めているが、羽村市はどのように対応するのか。

6月14日

15 人目

9 番

鈴木拓也
(60 分)

- (2) 西多摩衛生組合正副管理者会議や衛生組合内部で検討しているか。
- (3) 産業廃棄物プラスチックを受け入れれば、西多摩衛生組合の焼却炉が傷み長寿命化計画の実施が困難にならないか。
- (4) 羽村市・瑞穂町の 2 つの住民組織と西多摩衛生組合とが締結している公害防止協定が、5 月 8 日に改訂された。環境省の方針は、協定と相容れない内容だが、住民の方々の話し合いはしているのか。
- (5) 環境省の要請は、きっぱり拒否すべきと考えるが、市長の見解を質問する。

2. 羽村駅西口土地区画整理事業はいつ完成するのか

- (1) 事業期間は 2036 年までの通算 34 年間となった。15 年間延長すれば、西口区画整理は完成するのか。
- (2) 変更事業計画について、関係する住民の皆さんへの説明はどうするのか。
- (3) 新たな補助金（社会資本整備総合交付金都市再生区画整理）とは、どのような補助金か。
- (4) 新たな資金計画の根拠となる詳細な計画予算を公表すべきではないか。
- (5) 現在の、対象地域内の 65 歳以上の単身世帯数、2 人世帯数はそれぞれどれほどか。
- (6) 借り住まい先を探し転居する際、羽村市はどのような支援をするのか。
- (7) 西口区画整理事業の第 2 回変更計画について、東京地方裁判所での敗訴を受け羽村市は控訴した。控訴審と第 3 回変更計画との整合性について、どのように考えているのか。

1. 三矢会館連絡所などの廃止計画について問う

- (1) なぜ廃止する予定にしたのか。
- (2) 利用状況について
 - ① 利用実績はどうか。過去 5 年間の推移は。
 - ② 利用目的の内訳はどうか。
 - ③ 利用者の属性はどうか。
- (3) 事業にはどれだけのお金がかかっているか。その内訳はどうか。
- (4) 廃止は市民サービスの低下をまねくと思われる。どう認識しているか。
- (5) 代替的サービスはどう提供されるか。
- (6) 市民説明会を開催すべきではないか。
- (7) 市民サービスの低下をまねく、「行政のスリム化計画」ではなく、多くの市民が反対している「羽村駅西口区画整理事業」の見直しこそ、先に行うべきではないか。

6 月 14 日

16 人目

17 番

水 野 義 裕
(60 分)

2. 羽村駅西口区画整理事業の「新事業計画」を問う

- (1) 「新事業計画」の特徴は何か。
- (2) 時期について
 - ① 完成はいつの予定か。
 - ② 駅前は何年完成する予定か。
 - ③ 羽村大橋から羽村街道へ抜ける都道は、いつ完成する予定か。
 - ④ どういう順番で工事をすすめる予定か。これまでの計画との違いはあるか。
 - ⑤ これまで説明していた「30年計画」を大幅に短縮した。どうやって短縮したのか。
- (3) 予算について
 - ① 国・都からの補助金が大幅に増える見通しの計画になっている。なぜそれが可能となるのか。
 - ② これまで国・都から「遠い将来までの補助金は約束できない」旨の説明を市は受けていたが、その問題はクリアしたのか。
 - ③ 市費は年平均、また、最大いくらかかるのか。また、それをどう確保するのか。
- (4) 移転計画について
 - ① 移転家屋数は、年平均、また、最大何棟の計画か。
 - ② 曳き家移転、再築移転、集団移転の棟数はどうなるか。
 - ③ 中断移転の平均期間、最大期間はどうか。

1. 変更された羽村駅西口区画整理事業計画について

- (1) 変更点について
 - ① 主なものは何か。またその理由は何か。
 - ② 変更点の説明資料を作成し、市民（地権者だけでなく）に説明すべきではないか。
- (2) 交付金・補助金、市費について
 - ① これまでに導入した、交付金・補助金の名称とそれぞれの額は。
 - ② 今後予定している、交付金・補助金の名称とそれぞれの額は。
 - ③ 年度ごとに金額が記載されているが、支出する期限が定められているものはあるか。
 - ④ 社会資本整備総合交付金は、「地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画に基づき支援する」とあるが、羽村市が作成した計画はどんなもので、公表されているか。
 - ⑤ 市費の財源構成はどう考えているか。
- (3) 計画期間について
 - ① 今後18年で完了するというものだが、国や都はこれについてどう認識しているか。

6月14日

17 人目

16 番

濱 中 俊 男
(55 分)

②18年で完了するためには、権利者や市民の合意が不可欠だと思うが、具体的な方策は。

(4) 工事費について

- ①権利者への補償費はいくらか。
- ②東京都都市づくり公社への発注額はいくらか。

2. 学校における働き方改革について

- (1) 学校へのタイムカードの導入について、どのように評価し、今後活かすか。
- (2) 検討委員会の結果を受け、今後具体化にどう取り組むか。
- (3) 東京都教育委員会が提示した働き方改革への対応は。
 - ①在校時間の把握と意識改革の推進についてはどうか。
 - ②教員業務の見直しと業務改善の推進についてはどうか。
 - ③学校を支える人員体制の確保についてはどうか。
 - ④部活動の負担軽減についてはどうか。
 - ⑤ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた環境整備についてはどうか。
- (4) 市民の理解を得るためには、公式サイトや広報だけでなく、例えばPTA総会や運動会等様々な場で市民に直接働きかけることも必要ではないか。

1. 道路の計画と管理について

(1) 計画について

現在計画されている改修の予定はどのようなものがあるか。市道、国道、都道それぞれについて伺う。

(2) 個々の課題について

- ①川崎街道の歩道植栽の管理がよくなく、車道や歩道を走る自転車が走りづらい状態になっていて、特に通学時間帯の児童・生徒にとって危険性が増している。羽村市は植栽の管理をどのように行っているか。
- ②羽西地区の通勤時間に裏道となる市道に、かねてからカーブミラーの設置を望んでいる。カーブミラー設置の優先順位はどのような基準か。また、年度別の要望数と設置数を聞く。
- ③奥多摩街道に民家より樹木が繁茂し電線に接触しているのが見受けられる。また、降雪時の雪解け水が、排水が悪いため流れにくい姿も見られる。市は東京都に対しどのように要望しているか。

6月14日

2. 羽村駅西口土地区画整理事業について

- (1) 資金計画について
年度別歳入歳出資金計画表によれば、最大で17億円余となっている。財政面の裏付けはどうか。
- (2) 完成の年度を令和18年度としている。各区画の完成年度の見通しはいつ頃示されるのか。